

たましんレポート2026.6

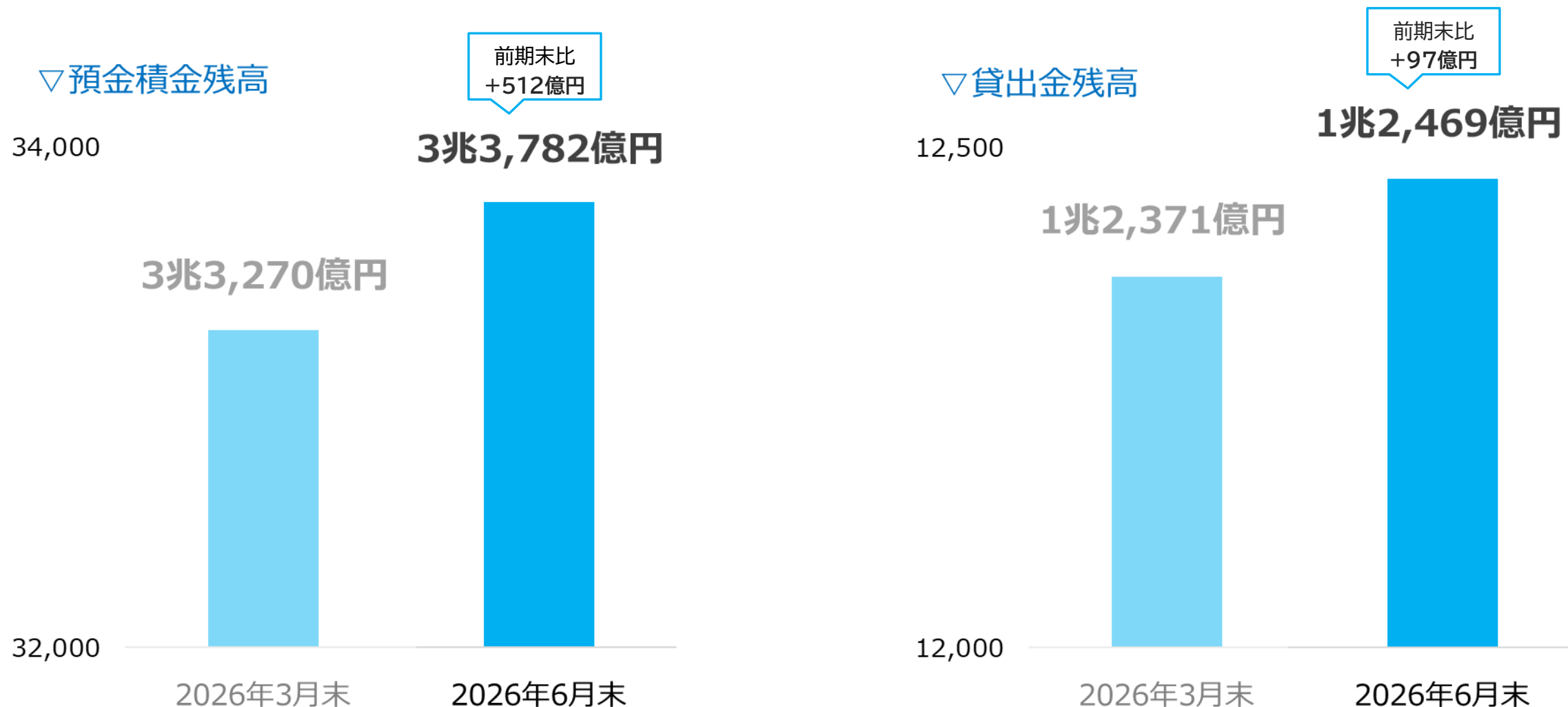
2026.4.1 – 2026.6.30



多摩信用金庫

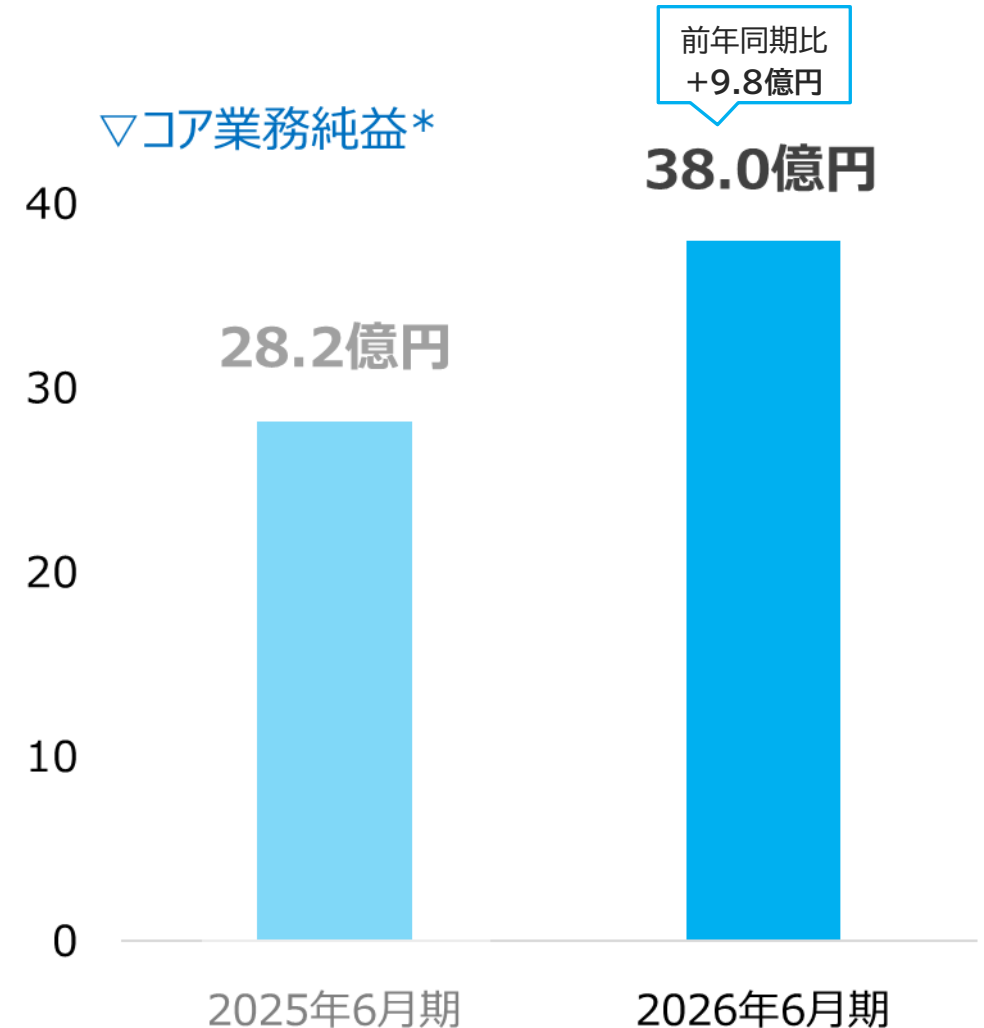
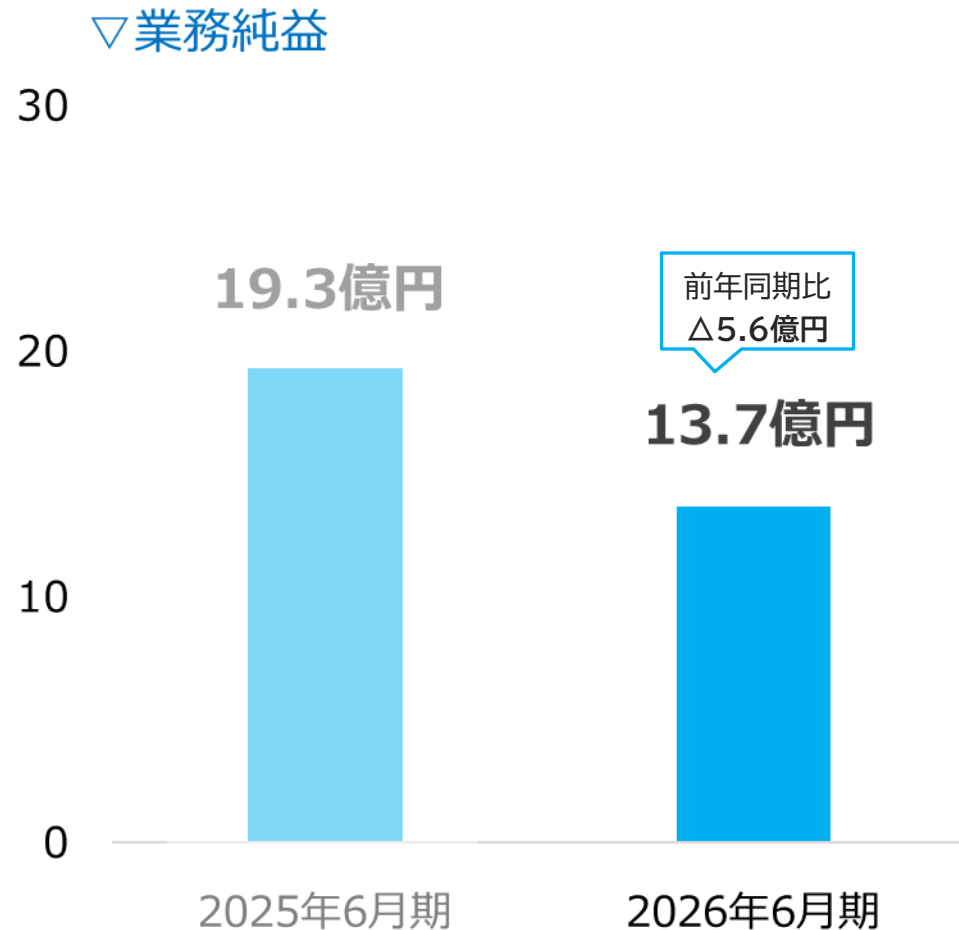
預金積金残高・貸出金残高

- 地域の皆さまが抱える課題の解決に取り組んだ結果、預金積金残高は前期末比512億円増加の3兆3,782億円、貸出金残高は同97億円増加の1兆2,469億円となりました。



業務純益・コア業務純益

- 預金利息や国債等債券売却償還損が増加した一方、貸出金利息や有価証券利息配当金が増加したこと等により、業務純益は前年同期比5.6億円減少の13.7億円、コア業務純益は同9.8億円増加の38.0億円となりました。

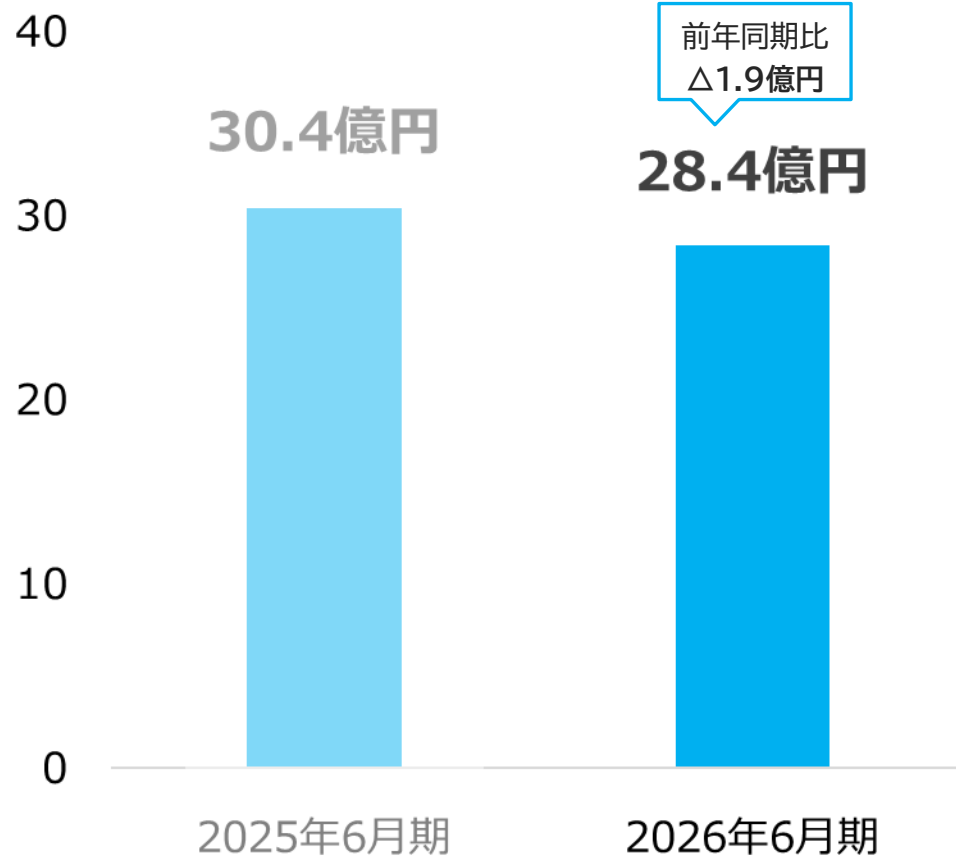


*コア業務純益 = 業務純益 + 一般貸倒引当金繰入額 - 国債等債券損益

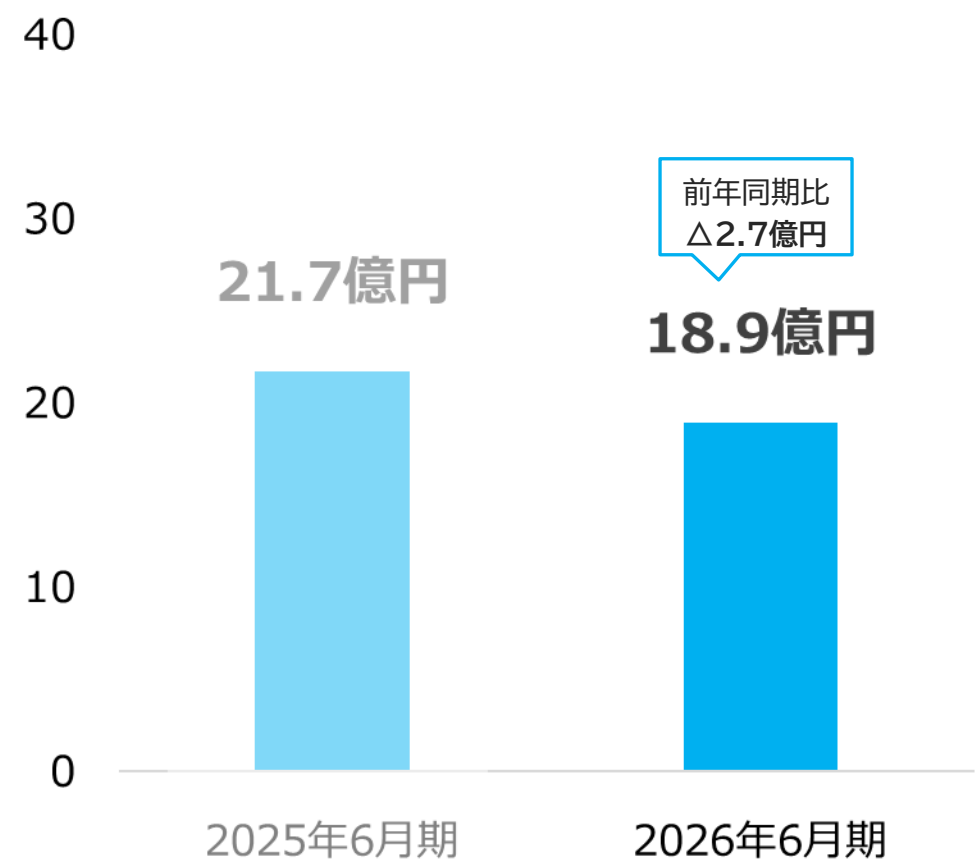
経常利益・当期純利益

- 計画的な益出しにより株式等売却益が増加した一方、債券の損出しを計画的に実施したことによる国債等債券売却償還損の増加等により、経常利益は前年同期比1.9億円減少の28.4億円、当期純利益は同2.7億円減少の18.9億円となりました。

▽ 経常利益



▽ 当期純利益

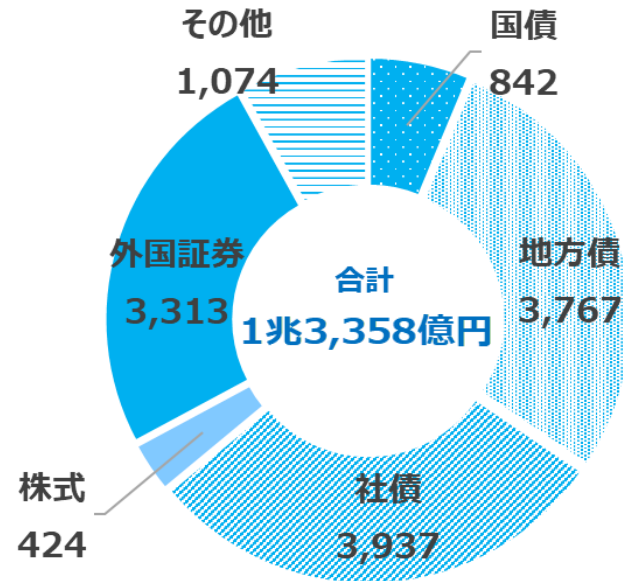


有価証券について

- 資金運用については、中長期的に安定した運用を心がけ、各種リスク管理を行ったうえで、国内外の債券を中心に株式や投資信託等に分散投資しています。
- 市場金利の上昇に伴い債券の評価損が拡大した一方、株式相場が堅調に推移したこと等から、保有有価証券の評価損益は△382億円となりました。なお、「リスク管理」と「将来の収益確保」という観点から、運用資産におけるポートフォリオの組み換えを実施するなど適切に対応しています。

▽有価証券の種類別残高内訳

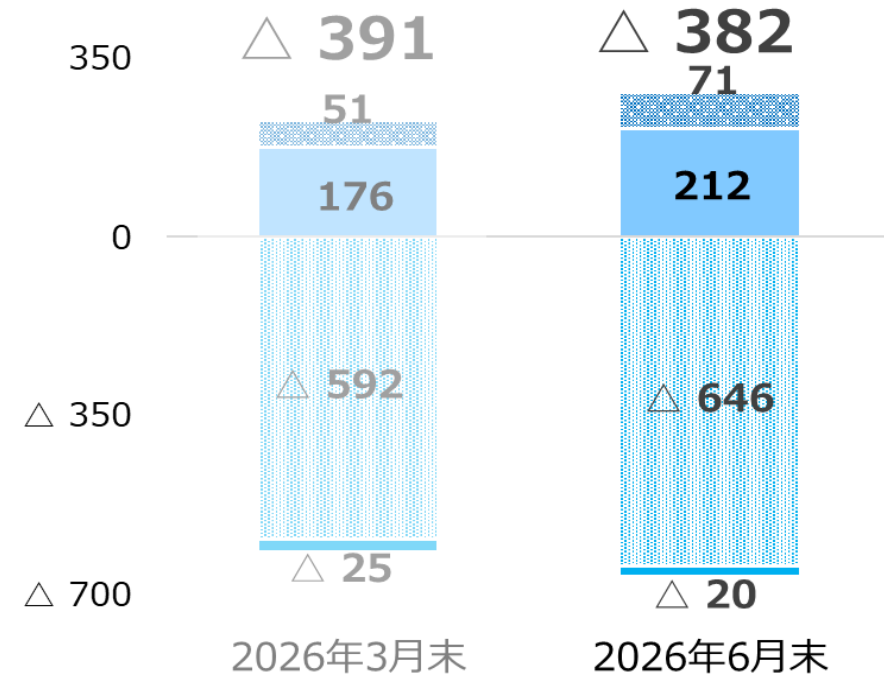
(単位：億円)



※ 有価証券の種類別残高は2026年6月末における貸借対照表計上額です。
 ※ 両図の「その他」は、投資信託等です。

▽有価証券の評価損益

(単位：億円)

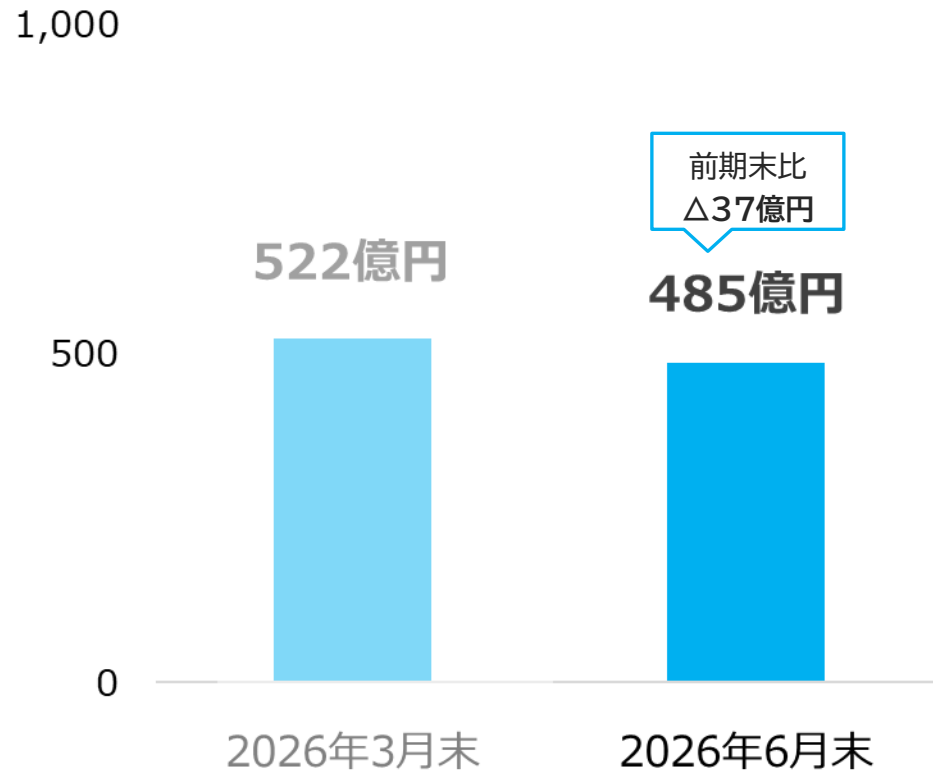


■ 株式 ■ 債券 ■ 外国証券 ■ その他

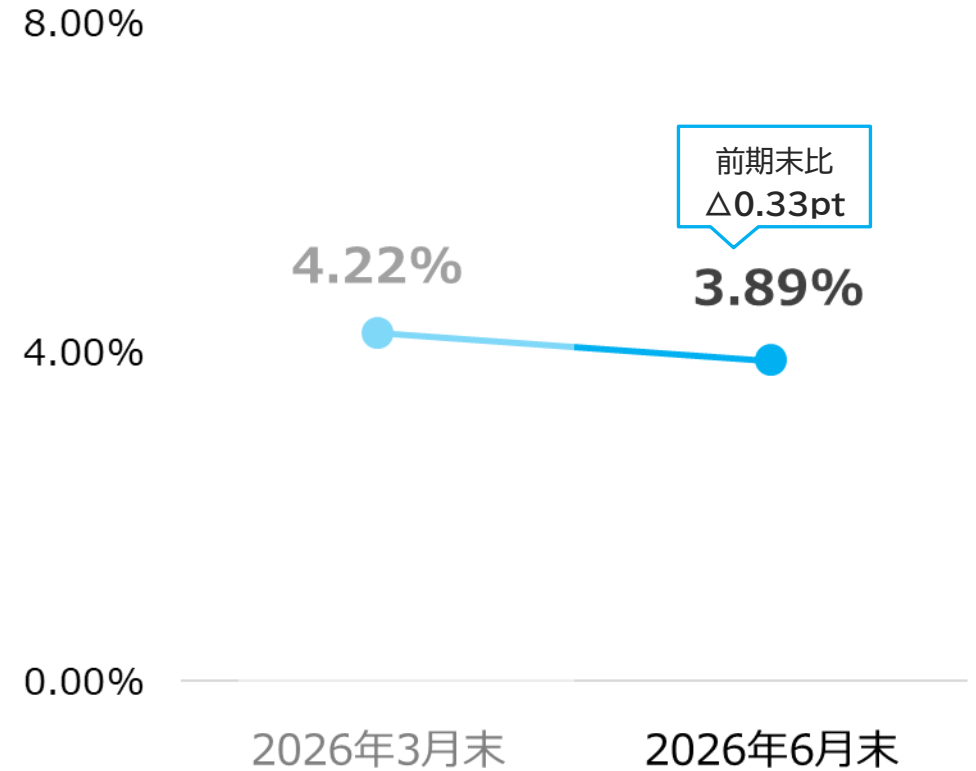
不良債権の状況

- 金融再生法開示債権のうち正常債権を除く開示額は、前期末比37億円減少し、485億円となりました。
- 不良債権比率は、前期末比0.33ポイント低下の、3.89%となりました。
- 厳しい経済環境下においても前向きに事業に取り組むお客さまの悩みや課題を共有し、その課題の解決に向けて積極的に事業再生・経営改善支援などに取り組んでいきます。

▽金融再生法開示債権残高



▽不良債権比率



※金融再生法開示債権は、貸出金のほか、外国為替、債務保証見返、仮払金、未収利息、たましんが保証する私募債を対象にしています。

たましんレポート 2026.6

多摩信用金庫

〒190-8681

東京都立川市緑町3-4

TEL:042-526-1111(大代表)

発行:2026年8月

ご意見・お問い合わせ【お客さま照会センター】

本誌に関するお問い合わせは

TEL:0120-187-329



(注)この四半期ディスクロージャー誌は、たましんが自主的に開示するものです。計数については、単位未満を切り捨て表示していますので、合計が一致しない場合があります。
なお、内容や諸計数については、会計監査人の監査を受けておりません。本資料は、発表現在において入手可能な情報に基づいております。